



# 最高のたまごは最高の鶏から 農場直送 “たまご村”



## 赤城養鶏牧場(有)

取締役 高村 哲夫 氏(桐生支部所属)

### Q & A

#### ▼会社概要&自己紹介

前橋市の赤城南麓にある採卵養鶏の会社です。赤玉鶏(茶系のたまごを産む鶏)約二万五千羽を飼養しています。養鶏業者は鶏卵問屋に出荷するのが一般的ですが、当社は創業時から売り先を自分たちで探してきました。現在は一〇〇%、お客様に直接販売しています。

休みもなく儲からない養鶏の仕事が嫌だった私は、通信機器会社でサラリーマンをしていました。ある日、友人への土産に家業のたまごを持つていくと絶賛され、他のたまごとの違いに改めて気付かされました。その出来事が家業に入るキッカケになりました。

#### ▼イチオシ

農場直送、安心・安全なこだわりたまごを消費者に届けたいという思いから、直売店「たまご村」を開きました。かれこれ約二十四年が経過し、現在は笠懸店・太田店・伊勢崎店・足利店の四店舗体制です。

鶏が健康に育つからこそ質の



良いたまごができます。自然の光と風が入る開放鶏舎で、一羽あたり通常の約二倍のスペースでゆったりと飼養しています。また、発酵飼料・胡麻・カキ殻さらには抗酸化作用があると言われるアスタキサンチンなど、高価でも高品質の餌を与えています。

#### ▼経緯

飼料の価格高騰や安値安定の鶏卵相場、後継者不在や大手による寡占化などで鶏卵業者は減少し続けてきました。当社が生

き残るためには、効率優先の大規模養鶏とは全く違う経営、中小規模だからできる付加価値の高い商品づくり、そして、自分たちで価格を決めなければならぬと思いました。ほとんどの農産物が自分たちで価格を決められないなか、大きな苦労はありましたが、強い信念を持って取り組んできました。

#### ▼お客様の反応

「品質の良いたまご」の評判がお客様の口コミで広がっていききました。現在、一日に採れるたまごの九割以上は直売店四カ所で売り切っており、笠懸店では一日平均一二〇名のお客様にお越しただけです。品薄状態が続いてしまった翌朝に、お客様が整理券を配って待っていてくれたこともありました。

贈答品などで当社のたまごを食べた遠方のお客様からの宅配注文も増えました。なかには都内から直接農場に訪れる方もいます。また、飲食店やパン屋さんからの問い合わせも数多くあります。「赤城養鶏のたまごじやな



#### ▼展望

たまご村にはたまごしか置いていませんし、今後も他のものを置く予定はありません。唯一の商品であるたまごの品質向上に努め、最高の商品を適正な価格で提供し続けたいと考えます。この適性な価格が大事なところで、安売りで行列をつくっても、お客様との末永い関係づくりはできないと思えます。

お客様の声に応えるには「最高のたまごは最高の鶏から」が基本です。今後も鶏にとって最高の環境を整え、鶏への感謝の気持ちを大切にしていきたいです。

〒242-1127 石毛町2-11-1 前橋市  
TEL 027-283-6527  
http://www.akagiyokei.co.jp/